WFC フレンドシップ・アワー

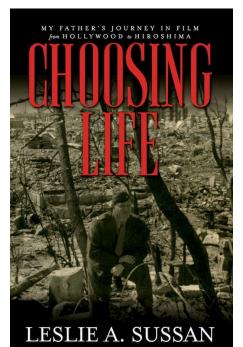


レスリー・スッサンさんと共に~『ヒロシマ、父と私』 2023年10月29日(日) pm2:30~4:30

【入場無料】 会場:エソール広島 研修室1・2 【日/英】

(広島市中区大手町 2-1 おりづるタワー10階) 開場pm2:00





「戦争の終わりともに日本が占領された 1946 年父ハーバート・スッサン少尉は願って もない任務を与えられた。映画の撮影監督として研鑽を積んだ成果を生かし、米国戦略爆 撃調査団に参加し、長崎と広島の原爆投下の結果を映像に記録することになったのだ。最 初に長崎に到着したときから、彼は未曽有のぞっとすることが起きたことに気づき、それを 記録しなければならないと悟った。特に被爆者が苛まれ続ける苦しみを。本国の政府が、こ んな映像はアメリカ国民の『興味』を引くものではない」と判断し、極秘扱いにしたとき、彼 レスリー・スッサンさん は何十年もかけてその公開を求めた。



父の遺志は、遺灰を広島の爆心地に撒くことだった。著者一彼の娘は、1987年に父の足跡をたどり、40年 以上前に父が撮影した被爆者に出会った。その旅を通じて生前知ることのなかった父を発見したのである。」 - 1946 年春、広島市内を映像に記録し、沼田鈴子さん(当時22 歳)を

撮影した父ハーバートさん。父の遺したオーラルヒストリーから父が日本で見て 体験したことを理解しょうとする自分自身の探求、そして父、さらに自分の人生に 与えた被爆者の物語を記したレスリーさん著『人生を選択する(仮題))』より -

ワールド・フレンドシップ・センター(WFC) Email:office@wfchiroshima.org https://www.wfchiroshima.org/

レスリー・A・スッサンさんは、マンハッタンで生まれ育ち、現在はメリーランド州シルバースプリングに娘のケンドラと猫の 「ネコちゃん」と共に住んでいます。レスリーさんは、弁護士としての長いキャリアの中で、米国司法省で訴訟を起こし、出

稼ぎ農場労働者や虐待された児童の弁護をしてきました。今は退官して、行政控訴判事を 15 年以上務めています。彼女は地元ベセスダのクエーカ ー・ミーティングに参加しています。彼女とケンドラは広島に 1987 年~88 年の 1 年間住んでいました。

レスリーさんの来日の機会に、ご一緒にお話をお聞きし、交流の時間をもちたいと思います。ぜひご参加ください。